

竜胆 Rindō 胆

Parent-Teacher Association

PTA 会報

Vol. 173



The Junior and Senior High School
Affiliated to Showa Pharmaceutical University



卒業式

GRADUATION



式辞

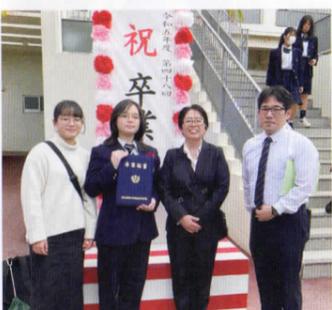
昭和美科大学附属高等学校
校長 富里 一公

花の香りが漂い春の息吹を感じさせる今日の佳き日に、学校法人昭和美科大学渡部一宏理事長、同西田潤常務理事をはじめご来賓、保護者の皆様のご臨席の下、昭和美科大学附属高等学校第四十八回卒業式が挙行されますことに在校生、職員一同、心から厚く御礼を申し上げます。

今日晴れて昭和美科大学附属高等学校を巣立つ百九十三名の生徒諸君！卒業おめでとう。君たちは、中学校入学からの六年間、この学舎で学び、友と語り合い、汗を流し、時にはお互い意見が対立し議論したこと、もあつたはずである。今にして思えばその一つ一つが懐かしい思い出であると同時に、その中から君たちが何を学び、今後、どう自分の人生に活かしていくのかが問われてくるのである。

中国の唐の詩人、王維の言葉に「人生はどちらを向いても別れだけである」という言葉がある。まさしく人生はその言葉通りである。出会った者は、いつか必ず別れなければならない。それが友であり、恩師であり、思い出であろう。しかし、何も贈ることはない。なぜならば「人生はどちらを向いても出会いだけである」からだ、4月にはまた、新たな出会いが君たちを待っている。

保護者の皆様方、本日は、お子様のご卒業、誠にありがとうございました。我が子の晴れの姿に感慨もひとしおのものがあると存じます。中学校入学からの六年間、喜びの時も、悩める時も、そばに寄り添い、叱咤激励し、陰日向に子ども達を支えて下さったことに対し、この場を借りて深くお礼を申し上げますとともに大変お疲れ



様でした。重ねてお祝いを申し上げます。

ここである高校三年生の男子生徒が詠んだ短歌を紹介したいと思います。

「天窓の 光り輝く 満月が お前よ立てと 瞳に刺さる」

この短歌の中に私は、思春期の一人の若者の人知れず抱えていた葛藤や不安、そして、その全てと必死に格闘し、自分の進むべき道を見出した若者の凛とした信念を感じました。昭和美科附属高等学校を卒業する君たちも多分、彼と同じように葛藤と不安ばかりの毎日だったはずである。中学校入学からの六年間、自分自身の心に自問自答を繰り返しながら必死に日々を過ごしてきたのだと思う。「昭和美科」という重たいブランドを背負い、必死にもがきながら目に見えないプレッシャーと戦ってきた君たちを前に、今、私には君たちにかける言葉が見当たらない。お疲れ様では軽すぎる。ご苦労様でもない。本当は「おめでとう！」でもないかもしれない。だからと言うべきか、私にできることは、ただ、黙って君たちの後ろ姿を見送るだけである。

さあ、旅立ちの時。人生の大海原に漕ぎ出していく昭和美科生たちよ。自分自身に忠実であれ！不器用でもいい、価値観が多様化するこの世界の中で気高いほどの独立心と向上心を持って時代を生きよ！そして、願わくばいつの日か、それぞれがめざす目的の地へたどり着かんことを心より祈りたい。健やかなれ船よ！穏やかなれ海よ！今まさに、君たちをめぐって永遠が轟いているのだ！

結びに、大いなる旅路に力強く踏み出す昭和美科生を東京より駆けつけてご臨席いただき激励くださいました学校法人昭和美科大学渡部一宏理事長並びに西田潤常務理事ご来賓の方々、そして保護者の皆様に深く感謝申し上げます。

祝辞

学校法人昭和美科大学
理事長 渡部 一宏



本日、ここに、第四十八回昭和美科大学附属高等学校卒業式を挙行するに当たり、学校法人昭和美科大学を代表してお祝いを申し上げます。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、本校の教育を支えていただいた保護者の皆さまに祝意を申し上げますとともに、心から御礼を申し上げます。

本日の卒業式は、本校関係者にとりましてもの上ない大きな喜びでございます。六年前に、期待、希望、不安など様々な気持ちを抱いて本校に入学した幼い皆さん方が、立派に成長し今日の晴れの日を迎えることができたことは感無量であります。また、今日まで手塩にかけて育ててこられた保護者の皆様のお喜びや、六年間に亘り生徒の成長を見守ってきた本校職員の気持ちを考えますと、胸が熱くなる思いがいたします。

さて卒業生の皆さんは、この学び舎で勉学に励み、友情を育み、青春の思い出を紡ぎ、心身ともにたくましく成長されました。皆さんは明日からはそれぞれの道を歩んで行くことに胸を膨らませていくと思います。しかし、今般の新興感染症やウクライナ問題等により、世界情勢は依然先行き不透明な状態が続いており、人々の暮らしや経済・社会活動に大きな影響をあたえています。このような厳しい状況のもとで、六年間大事に育てられた皆さんを、慣れ親しんだ

学び舎から新しい環境に送り出すことにいくばくかの不安を感じ、恐びない思いがいたします。しかし、沖繩の県花『デイゴ』の大木のように、嵐にあつても負けることなく、たくましく立派な根を張り、その根からありとあらゆる知識を吸収し大きく成長してください。

皆さん一人ひとり、それぞれ異なる特長をもった素晴らしい存在です。大学での学修や研究課題、その先にある就職、仕事など、これらの人生において自分で選択をしなければならぬことが多々あります。多くの人と相談をするのは勿論大切ですが、最後は自分で選ぶ判断力と自分で決める自己決定力が大切になります。「和して同ぜず」、我が道を切り開いてください。また、人生には一見無駄だと思われる事やつまらない事に遭遇する場面が多々あります。そうした場面に遭遇した時こそ、なにか新たな可能性の機会だと感じ、目標に向かって日々進むこと、愚直に努力と挑戦を重ねていくことが総合的な人間力が養われていくことに繋がることもぜひ忘れないでください。

皆さんは六年間をこの学び舎で過ごすことのできた、ほんの一握りの恵まれた人達です。これを決して当たり前のこととは思わず、育ててくださったご両親への感謝は無論のこと、自分を取り巻く多くの人々や自然に対しても常に謙虚で「守礼」を重んじる人間に成長してください。皆さんが本校で育んだ豊かな個性をさらに高め、皆さんの夢を叶え、社会に貢献できる人材になられるよう心から願っています。卒業生の皆さんの洋々たる前途に幸多き事を祈り祝辞といたします。

感想文.1

高校3年生

私は、林修先生の講演を聴いて、今までは、特に気にもしていなかったことや真実に驚きました。特に敗者の3つの要因である情報不足、慢心、思い込みは自分の人生を振り返って見た時に、多くの経験にあてはまるものでした。また、自分は油断をしやすい性格だと気づいてからは、油断大敵を常に思いながら今まで過ごしてきたためそれが、慢心から逃れるための行動として、当たっていたことがわかり嬉しかったです。

私が特に見習うべきだなと感じたのが、自分のやり方でやるということです。林先生が昔自分で作った源氏総覧で学んだように、何事においても自分のやり方でやるのが一番であると知りました。私も無理して他人のやり方でやるのではなく、何回も様々なやり方で挑戦して自分のやり方というものをそれぞれの分野で見つけていきたいと感じるようになりました。

最後に自分の人生は、この先どうなるかは分かりませんが、今までの歴史の偉人らを参考にし、ある程度自分の望む人生にすることができるのではないかと私は考えるようになりました。

感想文.2

中学3年生

今回、林先生の貴重な講演を聴く機会があり、とてもうれしかったです。私がこの講演を聴いて学んだことは2つあります。一つ目は、「大学受験は運で受かることはあって、落ちることはない」ということです。どのような分野の問題が解きやすい、解きにくいというのは人それぞれあると思います。しかし、受験という場において「この問題は自分に合わなかった」という言い訳が通用しないという事をこの言葉で改めて感じさせられました。私自身、言い訳に使ってしまうことがあったので反省しました。二つ目は、「敗者の特徴は、慢心・情報不足・思い込み」ということです。慢心や思い込みというのは受験において危険要素であると理解していましたが、情報不足がその二つと並べられるほど重要なことだとは思っていませんでした。私たち中学3年生は、共通テストの形が現在とは大きく変わり国語の大問の増加や数学の範囲が広がること、そして情報という新しい科目が加わるなど、過去問も少ない中で挑まなければなりません。だからこそ情報の量が合格を左右します。中3という早い段階でこの二つの気づきを与えて下さった林先生の講演は人生の中でも、素晴らしい経験になったと思います。ありがとうございました。

感想文.3

中学3年生

「傲慢な人間は必ず失敗する」という話は、自分も昔から同じ考えを持っていて日々意識していたので、少しうれしかったです。林先生のような大物でも株で大失敗して、その経験をふまえて成功したということを知って安心したし、希望を持つことができました。

感想文.4

高校3年生

失敗した人には3つの共通点があるという言葉が今回の講演で印象に残った。自分は、これまで多様な成功談を聞き、成功談こそ将来の道標となると考えてきたが、それを打破するものであった。林氏曰く、成功は、単なる偶然によってもたらされる場合があるが、失敗には必然的共通点があり、それは、情報不足、慢心、思い込みの3つだそう。林氏の経験や日本史を通してこの3つは、例証され、非情に納得できるものがあるが、私には臍に落ちないことがある。それは、失敗が必然的であるということだ。たくさん失敗の中でいくらかは偶然によって起こるのではないかと感じた。だから、上記の3つを克服し、なお失敗したとしてもめげることなく何度も挑戦することが大事なのだと思う。

感想文.5

中学3年生

林先生の、源氏や河井継之助など歴史から生き方を学ぶ、自分を知らうとする姿勢が素晴らしいと感じました。「兵に将たる器、将に将たる器」この講演で初めて聞いた言葉ですが、人生において、これを知っているか知らないかで大きく変わることはたくさんあると思いました。自分の器を知り、自分のできる範囲を精一杯やるのが勝者に繋がると林先生の経験談から学びました。

先生が講演の始めの方でおっしゃっていた「物語を組み立てる能力」について「源氏総覧」というものを自分で作ったり、歴史を分析し、敗者の特徴を見つけたりなど、自分に合った適切な方法で磨きあげていったのだなと思いました。私はこの能力がかなり低い方だと思うので、まずは一冊の本をじっくり考察することから始めたいと思います。

50 YEAR ANNIVERSARY

50周年
記念講演会

林修先生

歴史を通して
自分を知る

生徒の
感想



祝 高校創立50周年



50 YEAR ANNIVERSARY

高校創立五十周年記念
式典

令和5年 11/19

PTA会長お礼文

令和五年度PTA会長を担当している狩俣一郎です。この度は昭和薬科大学附属高等学校五十周年記念式典に多くの会員の皆様にご参加頂き、誠にありがとうございました。

今回の五十周年に向けて、花城哲元会長、眞榮田明美前会長、知念武史前会長の皆様が歴代積み立てたPTAからの寄付について、祝賀会にて歴代PTA会員の皆様を代表し、学校法人昭和薬科大学の渡部一宏理事長にお渡しすることが出来ました。この場をお借りして、ご報告させて頂きます。

PTA会員の皆様にはバザー等で資金造成について積極的な協力を頂き、大変感謝しております。PTA役員を代表して御礼申し上げます。今後も生徒達の学校生活が充実したものになるようにPTA会員の皆様方と情報交換しながら活動を行っていきたく思います。何卒、宜しくお願いいたします。



十一月十九日に五十周年記念式典が執り行われました。式典では、昭和薬科大学から、渡部一宏理事長をはじめ、山本恵子学長、多くの来賓の方にご列席頂き誠にありがとうございました。

五十周年記念誌を拜見させて頂くと創立当初のご苦労がよく分かりました。まだ、何もない草っ原からの出発、職員や生徒を集めることの大変さを知ることができました。

対談記事では、松田先生の「大学入試をゴールと思わずに、スタートだと思え、世界に挑戦して欲しいこと」また、「よく話合って、議論して欲しいこと」などのお言葉に感銘を受けました。新しい考えから、新たな発想が生まれます。

まず、前例にとらわれず、保護者から、新たな取り組みに挑戦してきたいと、五十周年記念誌を拝読して感じました。今の生徒達からは、想像できないようなゼロからの出発をされた、先輩方や先生方の礎を大切に、これからも保護者として、できる限りの活動をし親子共々成長していきたいと思えました。



美味しさ、
楽しさ溢れる

賑わいを見せた PTAバザー



令和
5年
12/16
PTA
EVENT

PTAによるバザーが行われました。
久しぶりに開催したバザーは、フードコーナーをはじめ飲み物、お菓子、リサイクルの制服などを販売し大勢の方々が足を運んでくれました。またフードトラックも人気を集め、お目当てのコーナーに走る生徒達の姿がありました。

当日は曇り空のもと時おり強風が吹きすさぶなか、フードや飲み物、お菓子のコーナーからは寒さをもとめず「ホットドック美味しいですよ!」「温かいココアはいかがですか?」との明るい声が響き渡っていました。フードは高一、中三が担当となり、評議員の皆さんは「どんな食べ物を出そうかお店をまわって味見をしたり、寄附をしてもらう為にお値段を交渉したり。一番悩んだのは仕入の個数です」と話してくれました。また事前に告知のポスターを貼ったり当日用のチラシを用意したりと準備から当日まで役員、評議員の方々が奔走され、生方や保護者そして生徒らの協力もあって見事に「完売」しました。

制服販売ブースは1時間しかない



那覇地区高等学校PTA連合会
R4研修部長

PTA功労者表彰

松川 香 さん

沖縄県高等学校PTA連合会
R4生徒指導部長

PTA功労者表彰

比嘉 敬 さん

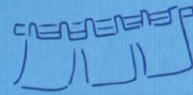


なか開始三十分前から長蛇の列ができた為、急遽入場制限をかけて順次対応しました。やはり人気は男子のスポン・シャツ・ジャケット類でアツと言う間に完売。制服以外にもタオルやスタバカード、クリアファイルなど実に一四〇個を売り上げ、大盛況のなか終えました。担当された研修部長は「予想以上に多くの方々に来てもらい、会計でも行列が出来てしまい申し訳ないです。制服の要望が多いことを改めて実感したので、今後入学式などでも販売が可能かどうか等、課題ができました」

また今回扱わなかったオリジナルTシャツなども次回は是非販売したいという意欲的なお話もありました。

今回のバザーを通してたくさんの笑顔に会え、繋がりが出来たことは大きな成果となりました。役員、評議員の皆様、そしてご協力して頂いた全ての皆様ありがとうございました!

バザーの収益は、生徒の為の環境充実費に充てられます。



Parent-Teacher
Association
2023-2024



高2E

眞喜屋陽子

11/4 福耳福助

学級PTAの時間の後、懇親会を開催しました。一番の目的は参加率です。24名の参加があり、先生と子供の成長した所とこれからの課題の話をしました。又、親同士も和気あいあいと交流することができたと感じました。

高1E

與儀喜代

12/16 教室



高1ALL

具志堅
千佐子

9/18 きらきらビーチ



高3A

中村孝一

10/14 CooDeTa

懇親会当日は、佐々木先生を始め22名の方が参加して下さいました。約4年振りのクラス懇親会、間近で上がる花火の歓迎もあり、最高の雰囲気の中、楽しい時間を過ごす事が出来ました。有難う御座いました。

高2A

高杉奈々

10/28 ダイニングバリテラス



高1A

具志堅
千佐子

1/27 生け簀の銀次 新都心店



高3B

米須利香

8/25 ポコアポコ



高2B

安谷屋和子

10/21 レストランシエル

担任の先生と学級懇談会に参加した父母にて茶菓子を楽しみながら担任からのクラスの報告を聞いた。担任の先生の報告終了後に少し今後別途クラスの父母で懇親会を開催し、進路や子育てなどについて、ざっくばらんに交流しました。

高1B

當眞真紀

12/16 教室



高3C

稲嶺桂子

8/18 ポコアポコ



高2C

須永秀司

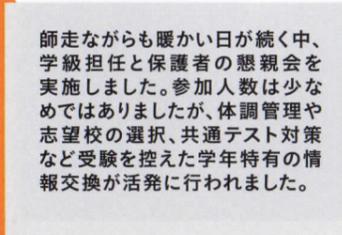
11/11 生簀の銀次

学校での子供たちの様子や塾の必要性などこれからどのように勉強に取り組んで行けば良いのかをアドバイスして頂きました。年明けの行事では他の保護者とも意見交換したいと思います。

高1C

石原久美子

12/16 教室



高3E

識名朝哉

12/9 金五郎

師走ながらも暖かい日が続く中、学級担任と保護者の懇親会を実施しました。参加人数は少なめではありましたが、体調管理や志望校の選択、共通テスト対策など受験を控えた学年特有の情報交換が活発に行われました。



高2D

平良貴洋

11/25 SPICE BAR beber

学級PTA後の1時間ほどの短い時間でしたが、担任の山田先生を囲んで部活、進路、家庭での様子など様々な話題で終始話につきない和やかで楽しい時間でした。

高1D

友寄裕子

12/16 教室



cheers



懇親会



中3A

八幡美智子

10/7 ホテルJALシティ那覇



中2A

城戸美和子

10/8 てだこボウル



中1A

伊敷博徹

10/8 こどもの家みなみクラブ



中3B

當間通人

11/25 肉・ワイン BAL COBY



中2B

山崎智子

11/11 ポコアポコ



中1C

西白保
絵礼奈

2/10 ダブルツリーバイヒルトン那覇首里城



中3C

古賀日奈子

12/16 ゆうづき



中2C

上地辰典

10/7 ポコアポコ



中1D

西澤綾乃

10/7 西原きらきらビーチ



中3D

本田祥子

9/16 火鉢屋 嘉例別邸



中2D

堀麻里

12/16 北海道 魚萬



中1E

大久保鋭子

12/16 教室



中3E

知念陽子

1/27 焼肉きたや



中2E

佐原千春

9/30 たくし屋



PTA 美化作業

Parent-Teacher Association

汗を流すっていいですね。雨の予報のため、校長先生が終了を告げても、皆さん、最後まで綺麗に作業をしたいとボランティア精神にあふれていました。自然に触れて、保護者の皆さんの笑顔に癒やされ、日々のスマホやパソコン業務に疲れた体を動かす事ができて、気分爽快でした。ご協力頂きました保護者、部活生の皆様ありがとうございました。



PTA ソフトバレー



PTA
2023 10.14



高校1年



先生 名嘉先生 / 福里先生 / 國吉先生 / 山田先生 / 池田先生

学年主任

【國吉 大志先生】年初はまだ中学生らしさが残り、浮いていた部分もありました。しかし、文理選択時期から少しずつ自分の進路について真剣に考え、目標に向かって努力できる生徒が増えてきました。次年度に向けて更なる成長を期待します。

高校2年



先生 佐々木先生 / 内野先生 / 安藤先生 / 内間先生 / 仲村先生

学年主任

【内野 順一先生】『探究旅行を終えて』探究旅行の民泊体験で、多くの生徒が沖縄との違いに大きな衝撃を受け、それを楽しみ、学びに繋がりました。一番印象的だったのは、民泊家庭訪問時に生徒が見せてくれた満面の笑顔でした。学校生活ではなかなか見られない貴重な瞬間で、引率して本当に良かったと感じる旅でした。

高校3年



先生 砂川先生 / 岩井先生 / 大森先生 / 額田先生 / 梶川先生

中学1年



先生 安慶名先生 / 金城先生 / 宮城先生 / 友利先生 / 中尾先生

学年主任

【安慶名 淳先生】中学2年まで残りわずか。生徒たちは、少し不安を抱えながらも、進級を心待ちにしています。期待と緊張の入学式からここ数か月で中学生らしさを身に纏ってきました。向上心の塊で勉強熱心な生徒が多く、一緒に挑んだ行事や切磋琢磨している日常の全てが大切な思い出です。この思い出を胸に素敵な先輩になってほしいです。

中学2年



先生 長嶺先生 / 城間先生 / 石川先生 / 仲間先生 / 當眞先生

学年主任

【長嶺 憲秀先生】昨年度までコロナ禍でできなかった宿泊を伴う集団行動や、生徒全体で内容考えた学年レクによって、計画→実行→反省といった、PDCA サイクルを回すことができました。

中学3年



先生 大嶺先生 / 又吉先生 / 加藤先生 / 坂本先生 / 平良先生

学年主任

【又吉 恒先生】5月以降、中学“初”に戸惑いながらも安心感と期待感に包まれました。宿泊研修等の行事では互いの親睦を深め、また多くの事を学び成長することができました。高校でも気負わず、自分らしく歩んでほしいものです。



高校生徒会長コメント

高校生徒会長 新垣花香

こんにちは！高校生徒会長をつとめている新垣花香です。気づけば私たち生徒会活動も終盤にさしかかっています。今年度私たち高校生徒会は様々な活動を行いました。夏季球技大会、50周年を記念した人文字、オリジナル行事「みに、まつり。」そして予餞会。どれも生徒に楽しんでもらうことができ、生徒会一同大きなやりがいを感じました。皆様のご協力に感謝いたします。残り少ないですが、まだまだ頑張っていくので応援とご協力をよろしくお願いいたします。

後列(左から)

書記 / 松島 小菜美
書記 / 大山 嬉
書記 / 喜名 希有
会計 / 榎田 晴人
会計 / 塚原 優太
会計 / 與儀 祐太

前列(左から)

書記 / 知念 光
副会長 / 伊禮 志織
会長 / 新垣 花香
副会長 / 當山 桜子
書記 / 玉城 陽斗



中学生徒会長コメント

中学生徒会長 大城希実

みなさんこんにちは。中学生徒会長の大城希実です。中学生徒会長として活動をしたこの1年は大きな成長ができた年だと思います。

行事の企画や運営は、役員でよく話し合い役割分担をし実行してきました。慣れないことばかりで上手くいかない事もありましたが、先生方や高校生徒会の先輩方に助けられてきました。夏休みにあったオープンスクールでは高校生徒会と協力し、小学生を楽しく迎えることができました。校則を変えようと、生徒にアンケートをとったり、話し合ったりしたのもとても良い経験になりました。この経験を活かして今後も頑張っていこうと思います。

後列(左から)

会計 / 國場 七海
庶務 / 島袋 一葉
庶務 / 佐久本 嗣俊
副会長 / 當間 しおん
書記 / 東 真愛
副会長 / 真喜屋 仁

前列(左から)

会計 / 相良 和希
会長 / 大城 希実
書記 / 赤嶺 端妃
書記 / 八幡 永遠





地元やヨーロッパ中から集まる人々や家族の喜ぶ顔を見るのが、現在の彼女のスクブんです。未知なる航海はこれからも続きますが、今、この

提供しています。

一方、北海道出身の妻は、ほぼゼロの状態から製麺業を立ち上げ、彼女の祖父や両親から受け継いだ製麺魂を込めて作ったうどんとラーメン

係を築き、お互いの共通点や違いから学び合える環境創りに励んでいます。

こちらの学校でも、生徒達がスクブンをや人生の目的を見つけられるように、「どこで、どんな仕事をやるか?」よりも「どうありたいか? 誰と何を愉しむか?」という問いを大切にしています。

スクブンは、沖縄の言葉で(その人特有の)使命・命の役割という意味ですが、私自身のスクブンの仮説はともシンプルで、「助け合って人生を愉しむ。沖縄を愛す。」です。それが私の人生の羅針盤かつ推進力となり、必要な時には錨にもなります。

島で家族全員で支え合いながら感謝に満ちて暮らしているのは、高校時代に自分を信じて一歩踏み出したからです。もし、少しでも海外に興味があれば、是非周りで信頼できる人に思い切った相談してみてください。もし海外に興味はなくても、ご自身のスクブンの仮説を心の片隅に持って、青春時代や人生の航海を味わい、好きなことを本気で愉しんで下さい。沖縄に沢山の土産話を持って帰れるように、私も今を愉しみます。



スクブンを羅針盤にした人生の航海

Boa tatei: ポルトガル領マデイラ諸島首都フンシャルから二十二期生の安田秀登です。体育教師の国吉大志君は中学校から、数学教師の長嶺憲秀君とは高校からの同級生です。二〇二三年九月に Brave Generation Academy (BGA) というハイブリッド・スクール(学校でオンライン学習するシステムで、BGAでは大学・高校・中学のカリキュラムを提供)のフンシャル校を立ち上げ、十九歳の息子と十六歳の娘を含めて、5カ国から集まる生徒と切磋琢磨しています。学校は島の最南端に位置し、目の前には大西洋が広がり、冬の時期は同じ海から日が昇り、沈む様子が見れます。あのコロナプスも、当初はこの島に拠点を置き、太陽の動きを見ながら「地球は丸い! 新大陸を西周りで発見する!」と信じたのかもしれない。

私の海外への(人生の)航海は、高校2年の夏、米国での交換留学に向けてスタートしました。

その後、大学はアメリカ・香港で会計学・国際経営学を専攻し、大学院はオランダで国際経営学を専攻しました。社会人になってからは、東京・沖縄で日本含むアジア、アメリカ、ヨーロッパの企業で勤務し、二〇一九年からドイツで医療機器メーカーに三年間駐在した後、会社を辞めてポルトガルに移住する際に、現在の学校と出会いました。これまでの航海で、どんな嵐にあっても乗り越えられたのは、中学時代からの恩師である座波正和教頭や同級生の仲間達のお陰で手に入れることができたスクブンの仮説です。



yummy みんなの学メシ

■ 作っている人 ■ 食べている人



1 パービー 今日は娘の中学生生活最後のお弁当。新年早々頑張って作ろうと思ってたのだけど、直前まで忘れてた心の中で「ごめん! イチゴも熟し過ぎ!」と謝る。まあ、高校生になっても毎日お弁当だしなあ。学食に食べに行ったりしないのかなー。

2 Srilla 絶賛反抗期中の息子。お弁当日の事もこちらから確認しなければ何も共有せず、仕方なく冷蔵庫にあるもので作ることに...でも、そんなお弁当でも「よっしゃ!」と嬉しそうに鞆に詰めてくれ、完食してくれる。ありがとう!

3 ヒコラ お父さん、お母さん、いつも弁当を作ってくれてありがとう! 3色弁当だったり4色弁当だったり、友達と今日の弁当は何だろうといつもお腹を空かせて真剣に話しています。2段弁当のお米の部分に何のふりかけがかかっているか開けるまでお楽しみなのも楽しいです! たまに土曜日、コンビニで弁当を買う時に、あんなお金するなら美味しい弁当食べたいな、とよく思います。弁当偉大!! 朝早く起きて、毎日お弁当を作ってくれて本当にありがとう! これからもよろしくお願いします!

4 スプリング 仕事も大変なのに、毎朝早起きしてお弁当つくってくれてありがとう。栄養バランスを考えておかずを3品入れたり、野菜を入れてくれるのは有難いです。お弁当で心身共にエネルギー充填できるので、7校時まで集中できます。

5 fumi 初めて投稿致します。毎日頑張っている、中2の息子へのお弁当です。家族へのお弁当や食事はどんなに忙しくても気持ちを込めて作る様に心掛けています! 食は身体にとって大切なので栄養、バランスを考えながら学び、子供たちが美味しく食べてくれる様にこれからも頑張ろうと思います。残さず食べてくれてありがとう!



10 はははの母 お弁当作りは、朝はあまり時間がないうえ、昨晩の残りをアレンジしたりします。卵焼きは幼稚園の頃から喜ぶことを知っているの、なるべく作っています。息子は、学校がお休みの日には自分で卵焼きを作って食べているようなので、高校からは少しでも自分でおかずが作れたら良いですね。でも、息子が食べている姿を想像しながら、お弁当箱に愛を詰めるのが嬉しい母です。これからもお弁当作りを楽しみたいです。帰宅したら、美味しかったよ、と言ってね!

11 リコピン 大好きな野菜の肉巻きやにんじんしりしりをたくさんお弁当に入れてくれるお母さん。今日は好きなチーズも入れてくれた。毎日朝早く起きてお弁当を作ってくれてありがとう。美味しいお弁当を食べたら、午後の授業も頑張れます。

12 にわとり 焼鮭、卵焼き、ウインナー、梅干し、前日の夕飯スライドのひき肉のオイスターソース炒め、エリンギ君を乗付けました。寒かったので保温ポットにベーコン野菜スープも。ちょっと多いかなと思いましたが、本人曰く「ぜんぜん足りない!」部活後にラーメン食べるからお小遣いちょうだい! あとゲーム時間伸ばして!との事。食べ盛り男子恐るべし。たくさん食べてね。でもゲームは伸ばさないよ!

13 くまこ 早起きさせやがって!! きちんと食べてね!



9 ミームン この日はいつも弁当を作っている妻が夜勤の為、息子に作る初めての父親弁当に。事前のリサーチでは好き嫌いはない、とにかくボリューム、デザートフルーツは必須とのこと。息子と同じで早起きは苦手、そのため前日から仕込んでおいた手羽先の炊き込みご飯。もやしを炒め、人参しりしりとブチマトと昨晩のあまりのブロッコリー。足りないタンパクはゆで卵をまるまる1つ、これでもかと詰め込んだ映えない弁当に。タンカンを持たせて毎日が楽しいと言っている学校へ。仕事でも弁当のことが頭から離れない。帰宅しての第一声は「弁当どうだった?」息子「あーまあまあよかったよ! 素っ気ない返答だったが空の弁当箱見たら達成感でいっぱい!

6 マロン たくさん食べて、たくさん頭を働かせてねー(笑)

7 サザエママ 朝起きたら、キッチンに謎のメモが...「弁当学校に持って日だから...! 寝る前に言ってくれよ~! 完全に忘れていた母も悪いけどさ! ということで、急いで作ったお弁当がこちらです。残り物ゆえ、メインの肉をぼろがちょっとしかなくてごめんなさい! サザエさん並みにうっかり母だから、次はちゃんと前日に教えてね!

8 ビクミン うどんdeナポリタン我が家の定番弁当は、炒飯か麺。麺は仕上げに一手間を加えることで、冷めてもくっつかずバラバラになります。今回はパスタではなく乾麺のうどんを使用、ソースはトマト丸ごと1個をピューレにして作りました。野菜好きな子供のために、パプリカとカリフラワーたっぷり入れています。彩りは悪いけど、美味しく食べてくれますように★



卒業おめでとうございます



昭和薬科大学附属高等学校・中学校

<https://www.showayakka-jh.ed.jp>

〒901-2112 浦添市沢岬450 TEL.098-870-1852

2024年(令和6年)3月16日発行

企画編集/昭和薬科大学附属高等学校・中学校/PTA発行人 狩俣一郎

広報部/奥浜・仲嶺・安座間・小那覇・知念

印刷/ワイズバンク株式会社 写真/広報部・学校・保護者

アンケート
こちらから

